

かごしま

JPS鹿児島支部

第253号

2018. 11. 1発行

■支部長：
〒890-
鹿児島市

スタンプショウかごしま 2018 開催

毎年秋に開催している「スタンプショウかごしま」は、今回で21回目でしたが、今年は2日目に大型台風の直撃に見舞われてしまいました。鹿児島東郵便局の臨時出張所は初日のみ開設、コレクション展示も撤収作業の懸念のため初日のみとするなど、開催内容の大幅な縮小を余儀なくされ、実質1日だけの開催となってしまったのは残念なことでした。来場者数も、例年の半分程度の114名にとどまりました。

それでも公式記念カード(写真下)は、何とか作成することができました。小型印は例年どおり前夷真由美さんに、記念カードとフレーム切手の原画は桜島在住の画家、野係宗男さんに提供していただきました。

展示作品の制作、開催前の準備、当日の設営作業にかかわってくださったみなさま、ご苦労様でした。また会員拠出金の趣旨に賛同してくださった方々、種々の寄付品を提供してくださった方々にも、深くお礼申し上げます。



イベントの柱となるコレクション展示では、招待作品3点を含む9点の作品が、10フレームを使って会場を飾りました。台風のため1日だけの展示となってしまいましたが、例年以上に展示に見入っている方が多かったように感じられました。(写真右)。



広島のアオヤマスタンプリさんには、今年もワゴン車いっぱいの郵趣品を積み込んで、駆けつけていただきました。また臼杵の松本さんのブースも、例年通り設置されました。さらに今年は、市内在住の牧師ブライアン・ドータンさんにも、ブースを出していただきました。店頭は、お目当ての切手を探すお客さんで賑わっていました(写真左)。



鹿児島でこうやって切手探しを楽しめるのは、年に一度のチャンスです。みなさま方の収穫はいかがでしたか？ この機会に入手した自慢品などありましたら、ぜひ例会等でご披露下さい。

鹿児島東郵便局の臨時出張所(写真右)は初日のみの開設となりましたが、記念切手類の販売と小型印の押印サービスが行われました。例年どおり前夷真由美さんに原画を描いていただいた小型印は、大好評だったようです。海外からを含め、200件以上の郵頼があったそうです。



紙つき使用済切手の無料つかみ取りは、例年どおり大盛況でした。記念切手主体としていることもあってか、一般の来場者には、やはり「展示よりつかみ取り」という気持ちが強いようです。段ボール箱1箱分の切手が、1日でほぼなくなりました。(写真左)。

台風のためコレクション展示を初日夕刻に撤収しましたが、その際に作業に当たった方々で記念写真を撮影しました。みなさまご苦労様でした。(写真下)。

